



救急医療体制について

副院長 兼 整形外科部長 景山 直人



わが国の救急医療体制は救急医療機関を重症度に応じて初期・二次・三次の3段階に分けて整備されています(昭和52年7月厚生省医務局長通知)。地域によってそれぞれ少し異なり明石市では次のような体制がとられています。

<明石市の救急医療体制>

I. 初期救急医療機関 (入院治療の必要がなく帰宅可能な患者さんへの対応機関)

- ・「かかりつけ医」(お近くの診療所)
- ・「明石市立夜間休日応急診療所」(内科と小児科のみ)

外科的治療を要する場合は下記の「救急告示病院」で対応しています。

II. 二次救急医療機関 (入院治療を必要とする重症患者さんへの対応機関)

- ・「病院群輪番制」(初期救急医療機関からの要請で入院を受ける病院)
- ・「救急告示病院」(救急車による搬入を受ける病院で市内11病院)

※「救急告示病院」：明石市立市民病院 明石医療センター 明舞中央病院 石井病院 王子回生病院 あさひ病院 譜久山病院 大久保病院 大西脳神経外科病院 野木病院 明石回生病院

III. 三次救急医療機関 (二次救急医療機関では対応できない重篤患者さんへの対応機関)

- ・「救命救急センター」(兵庫県立加古川医療センター 神戸市立医療センター中央市民病院 兵庫県災害医療センターなど)

<当院の救急医療体制>

当院は二次救急医療機関・救急告示病院として主に救急車搬入の患者さんを受け入れております。

- ・診療時間中は病状に応じた各診療科または救急総合診療科が対応しています。
- ・夜間・休日は月曜日・木曜日・土曜日は高度救急当番日のため、内科系と外科系の医師2名または救急総合診療科の医師1名が対応し、他の曜日では医師1名が対応しています。断らない救急を目指し、各診療科がオンコール体制(待機番制)によるバックアップを行っています。
※オンコール体制をとっている科：内科 消化器内科 外科 整形外科 脳神経外科 泌尿器科
- ・循環器内科は365日24時間救急対応を行っています。
- ・小児科は東播磨臨海地域2次救急医療機関として第1・4木曜日と第2・4日曜日に同地域の救急に対応しています。
- ・災害時などに消防からの要請で出動するドクターカーも導入し、救急現場に救急総合診療科の医師が駆けつけて初期診療を行います。

<患者さんへのお願い>

高齢化社会にあって救急車で運ばれる重症の患者さんは年々増え続け、さまざまな疾患を複合的に持つておられる方が非常に多くなっております。中には認知症の方も多数おられ情報収集が難しく、診療に大変時間を要しています。一方で、救急搬入患者さんのうち約半数は帰宅可能な軽症の患者さんであり、ごく一部ですが不要不急の場合もあります。夜間・休日の限られた医師数のなかでは、多くの軽傷の患者さんに時間を取られてしまい、重症患者さんの診療に支障をきたすこともあります。当院では断らない救急を目指して日々努力しておりますが、救急搬送が多数重なった場合、あるいは疾患の種類や症状によってはどうしても対応できないことがあります。皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

救急受診についてのご案内

ICU看護課 主任 岡崎 智絵

今年の夏は例年になく猛暑日が続いていましたが、一気に涼しくなり秋を感じる気候となりました。季節の変わり目は体調を崩される方が増える時期でもあります。そして、これから冬に向けて乾燥した気候が続く、感染症などの病気にかかる方が増える傾向にあります。

どんな病気でも予防と早期発見・早期対処をすることが大切ですが、万が一、急に体調を崩した時のために、当院の救急受診の方法についてお話ししたいと思います。

①診療時間内の救急受診について

診療時間内の救急受診については、各診療科で対応していますので希望する診療科に連絡をしてください。連絡なく病院にお越しになった場合は、対応に時間がかかったり診察できない場合もあります。その場合は、当院で適当な医療機関をご紹介します。

②診療時間外の救急受診について

診療時間外（夜間・土日祝日など）は救急外来での対応となります。診療時間外は当直体制下での診療となりますので、病院機能やスタッフが限られています。そのため、**専門医の診察ではなく応急処置などの一時的な対応となります。**さらに、救急外来は緊急性のある患者さんを対象に診察を行う外来ですので、**患者さんの緊急度によって診察の順番や待ち時間が変わります。**お薬の処方も必要最小限となりますので、救急外来での受診後、お薬がなくなる前にかかりつけ医もしくは通常の外来を受診して下さい。救急外来の受診を希望される場合や、受診するかどうかを迷う時には連絡して下さい。看護師が症状を確認し、医師に連絡を取ったうえで受診が可能かどうかをお返事します。

③救急車の利用について

意識が無い人を発見した場合や、自分で病院を受診することが出来ないほど「痛い」「苦しい」「手足が動かない」などの症状がある場合には、救急車を呼んで下さい。救急車が現場に到着するまでの所要時間は全国平均で8.5分です。その間に、お薬手帳・保険証・現金・靴などを準備しましょう。

最後に、お薬手帳は患者さんを知るための大事な情報源となりますので、救急受診の際には必ず持参するようにお願いします。

こちら救急総合診療科です！

救急総合診療科 部長 小平 博

皆さま、こんにちは。今回は「DMERC」についてご紹介します。

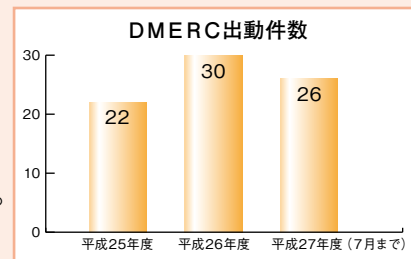
DMERC（ディーマーク）とは、医師現場派遣用緊急自動車の略語で、交通事故等で消防本部から現場への医師の派遣要請があったときに活動しています。

明石市では、平成21年10月より運用しており年間約30件の出動があります。

出動は、交通事故で意識がない傷病者が発生した場合・重篤な外傷事案・列車事故のような多数の傷病者が発生する大規模災害等、消防本部が必要と判断した時に要請があります。

最近は様々な安全運転に関するシステムが搭載されるなど、自動車の性能が良くなり、年々事故は減少傾向にありますが、市内では重症の外傷事案が年間35件ほど発生しています。今年度に入り、出動件数が増加していますが本音を言えばこの自動車が必要のない世界になればと思っています。

これからも、明石市内での重症外傷事案に対して早期の医療活動をめざし活動を続けていきます。



DMERCと救急外来スタッフ

地域包括ケア病棟のご案内

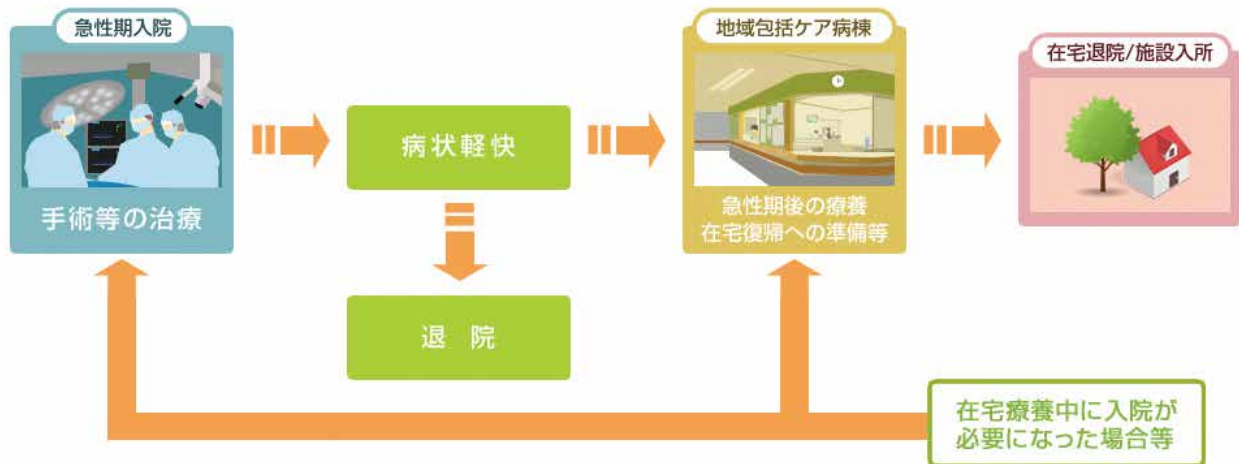
平成26年4月より、厚生労働省の診療報酬改定で、急性期医療から在宅療養までを結ぶ「要」として地域包括ケア病棟が新設されました。当院では、地域医療、在宅医療を支援する目的から、平成26年10月より、5階西病棟を地域包括ケア病棟として運営しています。

地域包括ケア病棟とは？

急性期を過ぎた後、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さんに対し、在宅復帰に向けた準備を整えていただくための病棟です。また、自宅や施設で療養中、一時的に入院が必要となった患者さんに対し、在宅医の依頼を受けて、療養の支援をすることもこの病棟の役割です。

地域包括ケア病棟への入院対象となる患者さんは、具体的には以下のような方となります。

- 在宅復帰に向けて、もう少し当院での療養や経過観察が必要な方
- 自宅や介護施設などで安心して生活するためのサポート体制を整える準備期間が必要な方
- 自宅や介護施設などで療養中に、一時的に入院療養が必要になった方 など



地域包括ケア病棟への直接入院又は転棟が必要な場合は、主治医が判断し、患者さんをご家族の方に提案いたします。地域包括ケア病棟では、「在宅復帰支援計画」に基づき主治医、看護師、リハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカーなどが協力して、在宅復帰に向けた相談や支援を行います。入院期間は状態に応じ調整いたしますが、60日が限度となります。

退院後に関する不安や悩みについて

「退院後の生活が心配」、「在宅（家庭）での看護や介護が不安」など、患者さんやご家族の方は療養中にさまざまな不安や悩みが出てくることがあります。

医療介護連携課では、そのような不安や悩みを、看護師や医療ソーシャルワーカーがお聞きし、一緒に考え、解決できるようお手伝いいたします。どうぞお気軽にお問合せください。



「かかりつけ医」を持ちましょう！

～市民病院から患者さんへのお願い～



当院は地域医療支援病院です

明石市立市民病院は、兵庫県知事より地域医療支援病院に承認されています。地域医療支援病院とは、地域の診療所や病院を支援する機能を有する病院のことをいい、次のような役割を担っています。

紹介制の推進

地域の診療所や病院等で役割を分担・連携し、患者さんの容態に適した医療を提供します。

救急医療の充実

入院や手術を必要とする救急患者さんを積極的に受け入れます。

施設設備の共同利用

地域の医療従事者の方々に、当院の施設や設備をご利用いただけます。

症例検討会の開催

地域の医療従事者の方々の医学研究の向上につながるよう、症例検討会を開催しています。

「かかりつけ医」と市民病院の役割分担



「かかりつけ医」とは、日頃からの健康相談や病気の初期治療、慢性疾患の治療、緊急時すぐに相談できる地域の診療所やクリニックの医師です。

「かかりつけ医」の紹介状によって、市民病院の医師はこれまでの病状や治療内容などが分かるため、市民病院でのよりスムーズな診療が可能になります。患者さんの症状が安定して、市民病院での専門的治療が終了した場合には、「かかりつけ医」へ逆紹介させていただきます。普段は「かかりつけ医」で診ていただき、必要なときには、市民病院に紹介していただけます。

「かかりつけ医」の紹介状をお持ちになると…

- ☆初診時特定療養費^(※)がかかりません。 ※「かかりつけ医」の紹介状をお持ちでないときにかかる費用です。
- ☆検査やお薬の重複を避けることができ、医療費の節約と安全の確保ができます。
- ☆待ち時間が短くて済みます。

「かかりつけ医」を探すお手伝いをします！

「かかりつけ医」を探したいと思っても、どうしてよいか、分からなくて困っていませんか？ そんなときは、医療介護連携課にご相談ください。「かかりつけ医」を探すお手伝いをします。

臨床検査課だより



～超音波検査～

前回までは、血液検査や尿検査のお話をしてきました。今回からは、直接患者さんを検査する生理検査（超音波・心電図・脳波・呼吸検査・血圧脈波など）についてお話します。

まずは、超音波検査です。超音波検査には、腹部・心臓・頸動脈・乳腺・甲状腺・下肢血管・胎児・表在などがあり、目的に応じて機器を変えて検査しています。

超音波検査は飲食の制限はありませんが、腹部超音波検査だけは絶食での検査が基本となります。食事をすると胃の中に食べ物が入り、胃の後ろにある膵臓が見えなくなったり、食べ物を消化しようと胆嚢から胆汁が出て、胆嚢が小さくなるためポリープなどが見えにくくなってしまいます。牛乳などの乳製品も同様の結果になってしまいます。水やお茶は飲んでいただいても結構です。膀胱や子宮、卵巣、前立腺を観察するには尿が溜まっているほうが望ましいので、可能なら尿を溜めての検査をお勧めします。検査時間は30分前後です。すべての超音波検査はゼリーを塗って検査を行います。検査終了後は技師がゼリーをある程度拭き取りますが、フェイスタオルを1枚持ってきてご自身で拭いてもらっています。

超音波検査は人間の耳では聞こえない音で検査しますので、レントゲンやCTと違って放射線を用いないため被ばくの心配もなく、人体に無害です。

同じ画像検査でも、CTは放射線、MRIは磁場、超音波は音で検査するので、それぞれの特性があり、これらを組み合わせて検査するのが一般的です。



超音波検査の様子

腎・透析センターの各ベッドにテレビを設置しました

臨床工学課

この度、院内アメニティ向上のために腎・透析センターの各ベッドにテレビを設置いたしました。

慢性維持透析の治療は、一般的には週3回の通院が必要で、1回の治療あたり4時間以上をベッドで過ごすことが必要となります。また、現在の医療では腎機能を回復させることは困難であることから、透析の治療は生涯継続していく必要があります。このことから、透析の治療に使用する貴重な時間を、少しでも日常生活に近づけることで、通院や治療時間に対するストレスが軽減されれば幸いと考えています。

テレビの利用は、入院時と同様でカードにより利用できます。カードは、各階エレベーターホールに設置している自動販売機で購入してください。また、使用の際にはイヤホーンを使用してください。イヤホーンは1階売店でも販売しております。

インフルエンザ予防接種を実施します！

1歳から16歳未満の方（中学生まで）

予約受付	小児科（受付D）または電話
予約受付時間	来院の場合：午前9時～午後5時 電話の場合：午後2時～午後3時
実施日程	平成27年10月26日（月）からの毎週月曜日と木曜日
接種当日の受付時間	月曜日：午後3時～午後3時30分 木曜日：午後0時45分～午後1時30分
予防接種費用	4,000円/1回目、3,000円/2回目（消費税込み）

16歳以上の方（高校生から）

予約受付	新患受付または電話
予約受付時間	来院の場合：午前9時～午後5時 電話の場合：午後2時～午後5時
実施日程	平成27年10月27日（火）から平成27年12月1日（火）までの毎週火曜日
接種当日の受付時間	午後2時30分～午後3時30分
予防接種費用	4,000円/1回目

※16歳以上の方につきましては、予防接種は通常1回接種のみになります。ただし、医師の診断により指示があった場合、2回目の接種費用は3,000円（消費税込み）となります。

※予約には限りがありますので、定数に達し次第終了させていただきます。

※お問い合わせ：医事課 ☎078-912-2323(代)

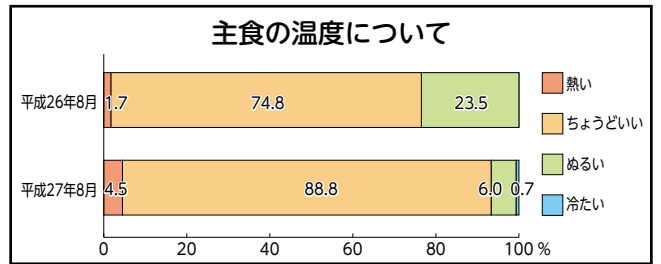
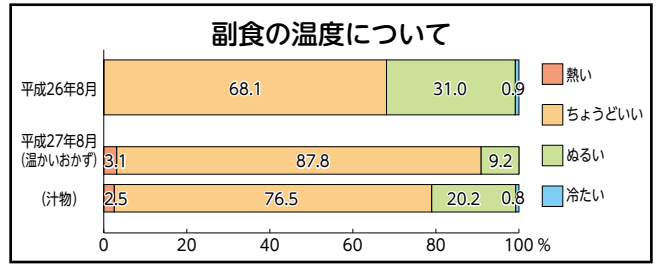
病院食の質向上への取り組み ～お食事アンケートの結果から～

栄養管理課

昨年10月に温冷配膳車を導入して早1年が過ぎました。以前は保温食器を使用していましたが、やはり保温機能に限界があり、年に2回、患者さんを対象に実施しているお食事に関するアンケートでは「ぬるい」とのご意見が多数ありました。しかし、現在は温冷配膳車を使用して「温」は65℃、「冷」は5℃の適温でお届けすることができます。今年も8月にアンケートを実施したところ、導入前の昨年8月と比べて温度に関してかなりの改善が見られました。(グラフ参照)

温冷配膳車の導入と同時に給食管理システムも一新し、患者さんのお食事に添える「食札」の形式にも工夫しました。「食札」にはお名前やアレルギー情報に加えて、献立と栄養成分等も表示しています。病院食には治療の一環としての役割もあるため、ご自身の食事の内容を詳しく知ることは、治療の質を高めることにもつながります。実際、アンケートでも「参考になる」「ありがたい」など多数のご意見をいただいています。さらには「一品ごとのカロリーも知りたい」というご意見も頂戴しており、患者さんの治療への積極的な思いも感じられました。

栄養管理課では、今後も患者さん個々に応じた食事療法の内容をしっかりと伝えられるよう努めてまいります。お食事の事でわからないことがございましたら、お気軽に管理栄養士にお尋ねください。



第4回 病院まつりを開催します！ 病院まつり実行委員会

今年も「病院まつり」の季節がやってきました！

当院では、地域の皆様への日頃の感謝の気持ちをこめて、毎年11月に病院まつりを開催しています。4回目となる今年も、「笑顔が集い 絆深まる みんなの病院」をテーマに下記の内容で開催いたします。

毎年1,000人を超える多くの方々にお越しいただき、地域の方々との交流の場として発展してまいりました。今年も体験ブースや健康ブース、ステージイベントなど職員手作りの企画が満載です。

ぜひ、お誘いあわせのうえ、お気軽にお越しいただき、楽しいひとときをお過ごしください。



昨年の様子(ミニ薬剤師体験)

第4回 病院まつり

日時：平成27年11月3日(火・祝)
午前10時～午後3時【雨天決行】
場所：1階外来ロビー ほか
内容：健康相談、ミニ薬剤師体験、
消防車・ドクターカー展示、
CT・MRIの展示、ステージイベント など

新任医師紹介



なかむら なおこ
中村 尚子
(放射線科 副医長)

所属学会(資格)等 放射線診断専門医

趣味 読書

あつち
明石の皆さん、こんにちは。放射線科は皆さんにとってあまりなじみのない科だと思います。画像診断を通して皆さんの苦痛の原因を早期に診断し、治療につなげる助けになるよう力を尽くしたいと思っています。

糖尿病教室のお知らせ

日程・内容	11月10日(火) シックデイについて ほか 12月 8日(火) 食事会※完全予約制
時間	午後1時30分～午後3時 ※食事会は正午～午後1時30分
場所	明石市立市民病院 2階講義室
参加費	無料 ※ただし、食事会は食事代として参加費500円が必要です。
お申し込み	不要(直接会場へ) ※ただし、食事会は予約制につき事前申し込みが必要です。
お問い合わせ	栄養管理課または内科外来 ☎078-912-2323(代)

※内容は変更することがあります。
※以降の内容につきましては決まり次第、市民病院ホームページにてお知らせいたします。

明石市立市民病院 糖尿病教室

検索